

読書バリアフリー研究会 アンケート回答（2014_05_17 東京会場）
 ～電子図書（マルチメディア DAISY 図書）は、
 特別支援を受ける子どもたちに読む喜びを伝えられるのか～
 参加者 46、アンケート回収 31

1. この講座をどちらでお知りになりましたか

新聞・雑誌	2	朝日新聞 1
ちらし・DM	8	
友人・知人の紹介	4	職場の先輩の紹介 1
ウェブサイト・ブログ	4	財団 HP3、
メーリングリスト	6	出版 UD 研 3、職場 1、
その他	7	職場回覧 1、未回答 1
合計	31	

2. 今回の講座の満足度をお聞かせ下さい。

満足	やや満足	やや不満	不満
25	6	0	0

その理由をお聞かせ下さい。

満足の理由
<ul style="list-style-type: none"> ・新しい取り組みに理解を示してくれる先生が少ないのが本当のところ。そういう意味でも「子どものために」という熱い想いと取り組みをしている先生方の話を伺えて、励みになると同時に大変勉強になりました。知らなかった情報、「なるほど！」という活用方法が知れて、本当に良かったです。 ・現場の声がたくさん聞けて、大変勉強になりました。生徒一人ひとりの特性やニーズに合わせて提供の仕方を工夫されているお話を伺い、「人」の大切さを改めて実感しました。 ・他校での実践を知ることができて勉強になった。DAISY 作成アプリの情報など、最新の情報を得ることができた。DAISY だけではなく、子どもたちの読書、生活支援の点からも視点を広げて考えることができた。 ・色々な学校の事例報告を聞くことができ、勉強になった。 ・具体的な実践・活用法を知ることができるので参考になる。また、実際に活用しておられる先生方からの要望・ニーズも知ることができた。 ・マルチメディア DAISY は、色々な使い方ができるという所が勉強になりました。今だけではなく、将来を踏まえて考えて実行していらっしゃる先生方の努力と考え方に胸をうたれました。 ・現場の先生方のお話を伺えて、製作する立場として非常に有益でした。 ・現場の先生方による事例を伺えてよかったです。多様なニーズがあることを再確認しました。 ・実践者の具体的な講演であったこと。生徒たちへの愛情が根底にある実践であったこと。 ・実践が具体的に良かったです。特別支援学校のお粗末さと、懸命に取り組んでいることに感心しました。今後の方向性が見えてきたので、この実践を応援して広める方法を探ることが必要だと感じました。 ・特別支援学校の皆様の具体的な実践例が聞いて良かった。伊藤忠の方々の熱心さが伝わって来た。 ・自分と同じことを考えている方がいらっしゃるのことがわかり、勇気づけられました。また、考えていなかったことも新たに知ることができ、幅が広がりました。 ・実践校の経験談は、理解しやすかった。iPad を操作させてもらい、有効性が理解できた。学校司書なので、先生に勧めたいと思う。 ・特別支援教育でのマルチメディア DAISY の活用場面が多いことを実感した。 ・昨年の発表に比べると、学校での実践と教育効果について（効果がなかったことも含めて）学ぶことができ、これからの本校の実践計画に役立つと考えた。

- ・他校の実践を知ることができた。お話を聞きながら、本校での実践のアイデアがひらめいた。
- ・マルチメディア DAISY を再認識することができた。
- ・iPad を実際にさわることができた。
- ・読書の意義を色々な先生方から、具体的な実践を通して伺うことができて良かったです。読書の意味→自分で読めるという喜び→自分の自信→人生の糧、と繋がるということで、マルチメディア DAISY の価値と可能性について知ることができて良かったです。子ども達の将来のために、良い話が聞けました。
- ・実践の具体例が、発表される先生方の口調や表情を通してリアルに伝わりました。マルチメディア DAISY というツールと生身の人のコラボレーションに意味があるのだと感じました。活動を支える伊藤忠さんの思いが貴重です。続けて下さいね。
- ・実物に触れることができた。学校以外の空気を感じられた。様々な前向きな実践が聞けた。担当者の方がとても紳士的(企業イメージも良くなりました)。無料で受講させていただいても良かったのでしょうか(助かりますが…)
- ・ATAC には以前から参加していたのに、財団事業についてちゃんと知らなかったことが残念です。参加させていただいて、知らないから使っていない学校が多いのだろうと思いました。お話を伺うことができ、実践の結果も分って嬉しかったです。すごく得をした気分です。京都からまいった甲斐がありました。
- ・マルチメディア DAISY 教科書とわいわい文庫とで違いがあることが分かった。DAISY を自分でも作成したことがあり、苦勞しました。PDF から簡単に作成できるようになると良いと思いました。
- ・初めて参加させていただいたこともあり、新鮮な話(特に学校現場の話)を伺うことができたから。
- ・数年前から興味を持ちました。参加できて大変良かったと思います。益々興味を持つことができました。普段、音訳をしています。マルチメディア DAISY の音訳提供のお仲間に入れて頂くには、どうしたら良いのでしょうか。それに伴う勉強はどうすれば良いのでしょうか。微々たる協力ですが、できれば幸いです。障害がある無しに関わらず、子どもの読書に壁のないことを祈ります。

やや満足の原因

- ・子どもたち一人ひとりに寄り添った実践例、興味深く拝聴しました。先生方の熱心な取り組み、素晴らしいです。子どもたちが自信を持って生きていける、社会に出ていけることを願います。
- ・もっと広く情報が発信できるといいと思いました。参加者が午後から少なくなるので、開始を午前・午後どちらかにかためる方がいいように感じました。
- ・全く初めての内容でした。(勉強不足ですいません) 講座内容を入門編、基礎編、応用編と明示してくださると、初めての方でも講座を受けてみようかなという気になる人も増えるのでは…と思います。私は全く初めてでも、大変興味深く聞くことができました。
- ・自分の勤務する図書館(大阪)でも今年度から市内の学校図書館支援を本格的に始めることになりました。対象となる学校の特別支援学級の子どもたちにどのような読書支援ができるか模索中です。今回のセミナーでそのヒントが得られればと思いましたが、全ての事例が内部の取り組みだったので、直接参考にはならなかったかなという印象でした。ただ、支援を必要としている子どもたちのこととその支援内容がとてもよく理解できました。ぜひ、引き続きこのようなセミナーを開催してください(できれば関西でも開催していただけるとありがたいです)
- ・難しいと思います。しかし、このような新しい方法を世の中の一部で実践されていることは、やはり立派なことだと思います。私は DAISY 図書という言葉も、今回初めて知りました。
- ・未記入 1

3. その他、お気づきの点がございましたら何でもお聞かせ下さい。

- ・参加者に満足していただく工夫として、推進するためのワークショップもいいのではないかと思います。実践を聞くだけでは、実感できないことも多いかもしれません。
- ・来週、研究者の方々からの講演があるようですが、本日も一人位研究者の方々のお話があれば、別の面で視野が広がったとも思います。

- ・興味のある先生は多くいらっしゃると思います。平日夜間の開催、東京以外の首都圏でもお願いします。障害者差別解消法を追い風に、これからもこの事業を続けてください。
- ・社会教育の立場（図書館や家庭での例）からの話も聞きたいと思います。
- ・参加者同士の交流ができれば良いかな、と思います。私は障害者に携わる者ではないですが、色々な人と交流することで、新しいものを得られるのでは…
- ・当事者の反応、意見を何かの形で集約できると良いかも。（大人でも良い）
- ・本校の教諭の実践を取り上げて頂き、ありがとうございます。今回は VER.BLUE の種類も増え、多様な児童生徒の指導に使いそうです。
- ・私の勤務校にも配布をお願いします。京都市も情報セキュリティが厳しいのですが、iPad を導入した学校もあるので、広がれば良いなと思います。支援学級の研修会で紹介する時に配布できるチラシなどがありますか？また財団電子図書普及事業部 HP へのリンクの可否などお聞かせください。
- ・マルチメディア DAISY 図書の認知度が低いのが現状なのだとわかりました。自分の学校でも活用の提案をしていきたいです。学校には iPad が 1 台、教室の PC は古く使いにくいものです。しかし、自分の特別支援学校の児童生徒に考えられる活用方法があります。小学校と交流していますが、小学生から「してもらおう」ことが多く、「してあげる」体験はあまりありません。DAISY を活用し、「読み聞かせ」ができないか考えています。可能でしたら支援をお願いします。
- ・スマホで本の表紙を写真やスクロールで見たり、一覧にして見たりできるようになると、文字を読めない子どもたちも選べるようになると思います。図鑑形式は PDD の人には好まれやすいのですが、中毒になる可能性もあるので、うまく使わないと、と思います。短めの作品で 5 分、10 分で終了すると、それが諦めのきっかけとなり、教員は使いやすくなると思います。これからも子どもに人気の本の DAISY 化をお願いします。
- ・ICT の支援がこれからの特別支援教育の要。児童生徒のためにはもちろん、先生が楽をして指導できる道具を提供させて頂くことができる支援機器メーカーとして頑張っていきます。
- ・なぜ参加者が少ないのか疑問。障害者の権利条約を批准したわが国として、これからは学校教育・公共図書館の職員研修が重要と思う。障害を持つ子の家庭への普及も。特別支援学校、学級の父母対象の研修会もぜひ必要と思う。NHK クローズアップ現代で一度取り上げる必要あり！
- ・マルチメディア DAISY に関する情報をもっと多くの、特に現場の先生方に知って欲しい。どんなアピールがあるのか…。みんなでガンバロー！！
- ・より多くの先生方に DAISY のことを知ってもらえると良いなと思います。全員とはいえなくても、一人にでも役立つものであれば、ただそれだけで十分意義のある教材だということを先生方に理解してもらおうことが大切だと思いました。
- ・PC の新しい OS に対応できるようなフリーソフトは少ない。合理的配慮の意味について勉強したいと思います。
- ・土産として CD1 枚くらい欲しかった。知的な教育に結びつく特別支援学校の核になるのではないかと思います。教育委員会指導課に働きかけて、実績を積み重ねると良いのではないかと。文部科学省も ICT を推進しているので、攻め方を工夫すると良いのではないかと。学との協働、大学研究室との連携が必要だと思います。
- ・障がいのある子も、ない子も、大人も子どもも幼児も赤ちゃんも、誰でも楽しめるたくさんの作品を文化の共有として DAISY 化してください。
- ・学校関係者だけではなく、様々な機関の方と知り合いになれてありがたかった。
- ・無料で有意義な機会をもつことができ良かったです。
- ・快適に聞くことができた。
- ・財団の方の熱意が伝わる良い研究会だと思います。将来的に動画をアップロードし、全国から見られるようになるとうれしいと思います。
- ・音声訳ではシナノケンシの PRS ソフト等を使っていますが、その他のソフトが必要でしょうか？音源だけでしたらファイルストレージで送ることができますが。

